

シラバス

(経営情報教育研究領域科目)

科目名	経営情報研究演習 I			担当教員：宮平 栄治																																																																	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences I			メールアドレス：s.miyahira@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1201(2706)																																																																	
単位数	受講年次	開講学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																																																
4	1	通年	2～3	研 315	火・木 14：45～16：15																																																																
<p>1. 授業の概要 経営情報研究演習 I では、修士号学位請求論文に必要なテーマ選定、研究方法、参考文献収集の仕方、批判的読解および発表の方法を学ぶ。</p> <p>2. 到達目標 修士号学位論文は、対象となる学問領域の全体像を理解する。要素還元論に基づいて可能な限り原著論文を批判的読解後、同じテーマで論を展開、比較・検討することで先達の到達点、改善点等を学ぶことになるので、本講義において叙述の2点を到達目標とする。</p> <p>3. 授業計画と内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>前期</th> <th></th> <th>後期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1週</td> <td>科学的思考(ポパーとトーマス・S・クーン)、社会科学と自然科学の相違点</td> <td>第1週</td> <td>関連論文文献研究報告①</td> </tr> <tr> <td>第2週</td> <td>既存理論研究の意義について関連論文文献研究と発表②</td> <td>第2週</td> <td>関連論文文献研究報告②</td> </tr> <tr> <td>第3週</td> <td>オリジナルな論文ー現象の発見・概念化・理論化・計測方法の確立・分析方法の確立</td> <td>第3週</td> <td>関連論文文献研究報告③</td> </tr> <tr> <td>第4週</td> <td>純粋理論研究・分野別研究・概念別研究・応用研究</td> <td>第4週</td> <td>関連論文文献研究報告③</td> </tr> <tr> <td>第5週</td> <td>静学分析・比較静学分析・動学分析</td> <td>第5週</td> <td>関連論文文献研究報告④</td> </tr> <tr> <td>第6週</td> <td>原因と相関関係、尺度と量質概念</td> <td>第6週</td> <td>関連論文文献研究報告⑤</td> </tr> <tr> <td>第7週</td> <td>問題とは</td> <td>第7週</td> <td>中間報告①</td> </tr> <tr> <td>第8週</td> <td>問題発見と解決</td> <td>第8週</td> <td>関連論文文献研究報告⑥</td> </tr> <tr> <td>第9週</td> <td>クリティカルリーディングと引用上の諸注意</td> <td>第9週</td> <td>関連論文文献研究報告⑦</td> </tr> <tr> <td>第10週</td> <td>修士論文テーマ設定と手順(関連論文収集と精読優先順位決定)</td> <td>第10週</td> <td>関連論文文献研究報告⑧</td> </tr> <tr> <td>第11週</td> <td>関連論文文献研究と発表①</td> <td>第11週</td> <td>関連論文文献研究報告⑨</td> </tr> <tr> <td>第12週</td> <td>関連論文文献研究と発表②</td> <td>第12週</td> <td>関連論文文献研究報告⑩</td> </tr> <tr> <td>第14週</td> <td>関連論文文献研究と発表③</td> <td>第13週</td> <td>関連論文文献研究報告⑪</td> </tr> <tr> <td>第14週</td> <td>関連論文文献研究と発表④</td> <td>第14週</td> <td>関連論文文献研究報告⑫</td> </tr> <tr> <td>第15週</td> <td>関連論文文献研究と発表⑤</td> <td>第15週</td> <td>中間報告②</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. テキスト・参考文献 【テキスト】 各自の研究テーマに沿った文献を指示する。 【参考文献】 各自の研究テーマにあった文献を指示する。</p> <p>5. 準備学習 演習時間までに原著論文の内容をまとめ、レジユメにまとめる。</p> <p>6. 成績評価の方法 ①報告レジユメ ②報告内容</p> <p>7. 履修条件 口頭発表の際は、レジユメを用意する。</p> <p>8. その他 特になし。</p>						前期		後期		第1週	科学的思考(ポパーとトーマス・S・クーン)、社会科学と自然科学の相違点	第1週	関連論文文献研究報告①	第2週	既存理論研究の意義について関連論文文献研究と発表②	第2週	関連論文文献研究報告②	第3週	オリジナルな論文ー現象の発見・概念化・理論化・計測方法の確立・分析方法の確立	第3週	関連論文文献研究報告③	第4週	純粋理論研究・分野別研究・概念別研究・応用研究	第4週	関連論文文献研究報告③	第5週	静学分析・比較静学分析・動学分析	第5週	関連論文文献研究報告④	第6週	原因と相関関係、尺度と量質概念	第6週	関連論文文献研究報告⑤	第7週	問題とは	第7週	中間報告①	第8週	問題発見と解決	第8週	関連論文文献研究報告⑥	第9週	クリティカルリーディングと引用上の諸注意	第9週	関連論文文献研究報告⑦	第10週	修士論文テーマ設定と手順(関連論文収集と精読優先順位決定)	第10週	関連論文文献研究報告⑧	第11週	関連論文文献研究と発表①	第11週	関連論文文献研究報告⑨	第12週	関連論文文献研究と発表②	第12週	関連論文文献研究報告⑩	第14週	関連論文文献研究と発表③	第13週	関連論文文献研究報告⑪	第14週	関連論文文献研究と発表④	第14週	関連論文文献研究報告⑫	第15週	関連論文文献研究と発表⑤	第15週	中間報告②
前期		後期																																																																			
第1週	科学的思考(ポパーとトーマス・S・クーン)、社会科学と自然科学の相違点	第1週	関連論文文献研究報告①																																																																		
第2週	既存理論研究の意義について関連論文文献研究と発表②	第2週	関連論文文献研究報告②																																																																		
第3週	オリジナルな論文ー現象の発見・概念化・理論化・計測方法の確立・分析方法の確立	第3週	関連論文文献研究報告③																																																																		
第4週	純粋理論研究・分野別研究・概念別研究・応用研究	第4週	関連論文文献研究報告③																																																																		
第5週	静学分析・比較静学分析・動学分析	第5週	関連論文文献研究報告④																																																																		
第6週	原因と相関関係、尺度と量質概念	第6週	関連論文文献研究報告⑤																																																																		
第7週	問題とは	第7週	中間報告①																																																																		
第8週	問題発見と解決	第8週	関連論文文献研究報告⑥																																																																		
第9週	クリティカルリーディングと引用上の諸注意	第9週	関連論文文献研究報告⑦																																																																		
第10週	修士論文テーマ設定と手順(関連論文収集と精読優先順位決定)	第10週	関連論文文献研究報告⑧																																																																		
第11週	関連論文文献研究と発表①	第11週	関連論文文献研究報告⑨																																																																		
第12週	関連論文文献研究と発表②	第12週	関連論文文献研究報告⑩																																																																		
第14週	関連論文文献研究と発表③	第13週	関連論文文献研究報告⑪																																																																		
第14週	関連論文文献研究と発表④	第14週	関連論文文献研究報告⑫																																																																		
第15週	関連論文文献研究と発表⑤	第15週	中間報告②																																																																		

科目名	経営情報研究演習 I			担当教員：金城 亮	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences I			メールアドレス：a.kinjo@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1203	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
4	1	通年	2	研 314	火曜 4 限・木曜 2 限

1. 授業の概要
本演習は産業・組織心理学分野の研究活動を行う演習である。修士論文執筆に備えて関連研究等の幅広いリサーチを行い、理論的枠組みの強化をはかる。同時に、修士論文研究に使用する妥当性・信頼性の高い調査尺度や実験課題等の収集／開発を行うために、予備的なデータ収集を実施する。さらに、種々の統計分析手法に関する理解を深めることを目的とする。

2. 到達目標
修士論文執筆に向けて、妥当性・信頼性の高い調査尺度や実験課題等の収集／開発を行いつつ予備的なデータ収集を実施する。さらに SPSS 等の統計分析アプリを研究目的に沿って使いこなせるようになる。

3. 授業の計画と内容

第 1 週	オリエンテーション	第 16 週	予備調査／実験データの収集①
第 2 週	研究テーマ・仮説設定	第 17 週	予備調査／実験データの収集②
第 3 週	研究テーマ・仮説設定	第 18 週	予備調査／実験データの収集③
第 4 週	課題関連研究の文献検索①	第 19 週	予備調査／実験データの収集④
第 5 週	課題関連研究の文献検索②	第 20 週	データ入力・集計①
第 6 週	課題関連研究の文献講読①	第 21 週	データ入力・集計②
第 7 週	課題関連研究の文献講読②	第 22 週	統計分析①
第 8 週	統計分析の基礎知識	第 23 週	統計分析②
第 9 週	統計分析ソフト：SPSS の使用法①	第 24 週	図表作成①
第 10 週	統計分析ソフト：SPSS の使用法②	第 25 週	図表作成②
第 11 週	尺度／実験課題の検討①	第 26 週	結果の解釈・考察①
第 12 週	尺度／実験課題の検討②	第 27 週	結果の解釈・考察②
第 13 週	研究計画の策定①	第 28 週	研究レポート作成①
第 14 週	研究計画の策定②	第 29 週	研究レポート作成②
第 15 週	研究計画の策定③	第 30 週	研究成果報告

4. テキスト・参考文献
【テキスト】
研究テーマに応じて適宜指定
【参考文献】
研究領域に応じて適宜指定

5. 準備学習
自身の研究テーマに沿った先行研究の収集、講読を十分に行うこと。

6. 成績評価の方法
①演習における活動状況： 30点
②研究報告書等提出物： 70点
計 100点

7. 履修の条件：
・学群／学部における心理学関連科目の単位を履修済みであることが望ましい。
・学群／学部において心理学分野の卒業研究論文を執筆済みであることが望ましい。

8. その他
演習生には、受動的な研究姿勢に留まることなく、自らの問題意識、研究テーマの解明に向けて主体的・積極的に取り組んでいただきたい。

科目名	経営情報研究演習 I			担当教員：木村 堅一 メールアドレス：k.kimura@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1205																																																	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences I																																																				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																																
4	1	通年	2	研 310	月曜日 3 時限目 火曜日 3 時限目																																																
<p>1. 授業の概要</p> <p>本演習は、社会心理学における対人心理学研究・対人コミュニケーション研究に焦点を当て、それらの先行研究の読解・分析、仮説の発展、研究目的と手法の選択、行動の数量化、仮説検討といった一連の研究プロセスを理解した上で、各自で研究計画を決定、実行を指導する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>社会心理学的な研究を行う上で必要な方法論に関する基本的な知識と技能を理解できる。 自らの修士論文における研究計画の立案において、得られた知識を活用できる。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">前期</th> <th style="text-align: center;">後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 週</td> <td>各自の研究実績の紹介</td> <td>予備実験あるいは予備調査 (1)</td> </tr> <tr> <td>第 2 週</td> <td>文献収集・先行研究の紹介 (1)</td> <td>〃 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 3 週</td> <td>〃 (2)</td> <td>〃 (3)</td> </tr> <tr> <td>第 4 週</td> <td>〃 (3)</td> <td>発表会リハーサル</td> </tr> <tr> <td>第 5 週</td> <td>〃 (4)</td> <td>研究計画発表会</td> </tr> <tr> <td>第 6 週</td> <td>〃 (5)</td> <td>データ収集 (1)</td> </tr> <tr> <td>第 7 週</td> <td>問題設定 (1)</td> <td>〃 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 8 週</td> <td>〃 (2)</td> <td>〃 (3)</td> </tr> <tr> <td>第 9 週</td> <td>〃 (3)</td> <td>〃 (4)</td> </tr> <tr> <td>第 10 週</td> <td>〃 (4)</td> <td>〃 (5)</td> </tr> <tr> <td>第 11 週</td> <td>〃 (5)</td> <td>論文添削 (1)</td> </tr> <tr> <td>第 12 週</td> <td>研究計画 (1)</td> <td>〃 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 13 週</td> <td>〃 (2)</td> <td>〃 (3)</td> </tr> <tr> <td>第 14 週</td> <td>〃 (3)</td> <td>〃 (4)</td> </tr> <tr> <td>第 15 週</td> <td>〃 (4)</td> <td>〃 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. テキスト・参考文献 適宜、紹介する。</p> <p>5. 準備学習</p> <p>日頃から、自らの興味・関心あるテーマについて問題意識を深めておくこと。 先行文献の収集・整理を行い、先行研究の成果や問題点をレビューしておくこと。 研究計画を具体化すること。 予備調査・予備実験のデータを分析しておくこと。</p> <p>6. 成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文本体 (50 点) ・発表会 (50 点) ・合計 (100 点) <p>7. 履修の条件 特になし。</p> <p>8. その他 特になし。</p>							前期	後期	第 1 週	各自の研究実績の紹介	予備実験あるいは予備調査 (1)	第 2 週	文献収集・先行研究の紹介 (1)	〃 (2)	第 3 週	〃 (2)	〃 (3)	第 4 週	〃 (3)	発表会リハーサル	第 5 週	〃 (4)	研究計画発表会	第 6 週	〃 (5)	データ収集 (1)	第 7 週	問題設定 (1)	〃 (2)	第 8 週	〃 (2)	〃 (3)	第 9 週	〃 (3)	〃 (4)	第 10 週	〃 (4)	〃 (5)	第 11 週	〃 (5)	論文添削 (1)	第 12 週	研究計画 (1)	〃 (2)	第 13 週	〃 (2)	〃 (3)	第 14 週	〃 (3)	〃 (4)	第 15 週	〃 (4)	〃 (5)
	前期	後期																																																			
第 1 週	各自の研究実績の紹介	予備実験あるいは予備調査 (1)																																																			
第 2 週	文献収集・先行研究の紹介 (1)	〃 (2)																																																			
第 3 週	〃 (2)	〃 (3)																																																			
第 4 週	〃 (3)	発表会リハーサル																																																			
第 5 週	〃 (4)	研究計画発表会																																																			
第 6 週	〃 (5)	データ収集 (1)																																																			
第 7 週	問題設定 (1)	〃 (2)																																																			
第 8 週	〃 (2)	〃 (3)																																																			
第 9 週	〃 (3)	〃 (4)																																																			
第 10 週	〃 (4)	〃 (5)																																																			
第 11 週	〃 (5)	論文添削 (1)																																																			
第 12 週	研究計画 (1)	〃 (2)																																																			
第 13 週	〃 (2)	〃 (3)																																																			
第 14 週	〃 (3)	〃 (4)																																																			
第 15 週	〃 (4)	〃 (5)																																																			

科目名	経営情報研究演習 I			担当教員：仲尾次 洋子 メールアドレス：y.nakaoji@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1093																																	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information sciences I																																				
単位数	受講年次	開講学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																
4	1	通年	若干人	研 302	火 1 限 ・ 金 1 限																																
<p>1. 講義内容 本演習では、会計分野（財務会計や国際会計）における文献研究を行うとともに、修士論文の作成方法を修得する。</p> <p>2. 到達目標 修士論文のテーマに関する先行研究サーベイや論点管理がしっかりできていること。</p> <p>3. 講義予定</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">前学期</th> <th style="text-align: left;">後学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 週 オリエンテーション</td> <td>第 1 週 研究進捗確認</td> </tr> <tr> <td>第 2 週 卒業研究の紹介</td> <td>第 2 週 論文作成</td> </tr> <tr> <td>第 3 週 文献収集</td> <td>第 3 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 4 週 先行研究サーベイ</td> <td>第 4 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 5 週 //</td> <td>第 5 週 研究計画発表会</td> </tr> <tr> <td>第 6 週 //</td> <td>第 6 週 論文作成</td> </tr> <tr> <td>第 7 週 //</td> <td>第 7 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 8 週 //</td> <td>第 8 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 9 週 論点整理</td> <td>第 9 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 10 週 //</td> <td>第 10 週 論文添削指導</td> </tr> <tr> <td>第 11 週 問題設定</td> <td>第 11 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 12 週 研究計画</td> <td>第 12 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 13 週 論文作成</td> <td>第 13 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 14 週 //</td> <td>第 14 週 //</td> </tr> <tr> <td>第 15 週 前学期総括</td> <td>第 15 週 後学期総括</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. テキスト・参考文献 適宜指示する。</p> <p>5. 準備学習 適宜課題を課す。</p> <p>6. 成績評価方法 活動状況 40 点 研究成果 60 点 計 100 点</p> <p>7. 履修の条件 簿記の基本的なスキルを有すること。</p> <p>8. その他 特になし。</p>						前学期	後学期	第 1 週 オリエンテーション	第 1 週 研究進捗確認	第 2 週 卒業研究の紹介	第 2 週 論文作成	第 3 週 文献収集	第 3 週 //	第 4 週 先行研究サーベイ	第 4 週 //	第 5 週 //	第 5 週 研究計画発表会	第 6 週 //	第 6 週 論文作成	第 7 週 //	第 7 週 //	第 8 週 //	第 8 週 //	第 9 週 論点整理	第 9 週 //	第 10 週 //	第 10 週 論文添削指導	第 11 週 問題設定	第 11 週 //	第 12 週 研究計画	第 12 週 //	第 13 週 論文作成	第 13 週 //	第 14 週 //	第 14 週 //	第 15 週 前学期総括	第 15 週 後学期総括
前学期	後学期																																				
第 1 週 オリエンテーション	第 1 週 研究進捗確認																																				
第 2 週 卒業研究の紹介	第 2 週 論文作成																																				
第 3 週 文献収集	第 3 週 //																																				
第 4 週 先行研究サーベイ	第 4 週 //																																				
第 5 週 //	第 5 週 研究計画発表会																																				
第 6 週 //	第 6 週 論文作成																																				
第 7 週 //	第 7 週 //																																				
第 8 週 //	第 8 週 //																																				
第 9 週 論点整理	第 9 週 //																																				
第 10 週 //	第 10 週 論文添削指導																																				
第 11 週 問題設定	第 11 週 //																																				
第 12 週 研究計画	第 12 週 //																																				
第 13 週 論文作成	第 13 週 //																																				
第 14 週 //	第 14 週 //																																				
第 15 週 前学期総括	第 15 週 後学期総括																																				

科目名	経営情報研究演習 I			担当教員：林 優子									
科目名(英語)	Seminar in Management and Information sciences I			メールアドレス：y.hayashi@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1094									
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー								
4	1	通年	2	308	火曜日 2 時限、火曜日 3 時限								
<p>1. 授業の概要 本演習は、経営戦略分野の研究を行う。修士論文の作成にむけて、演習Iでは、先行・文献研究を進め、研究課題・目的の明確化を目指す。</p> <p>2. 到達目標 先行研究・文献サーベイを行い、研究目的の明確化を行う。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>前学期</p> <p>第 1 週 オリエンテーション (進め方の確認)</p> <p>第 2 週 研究計画の検討</p> <p>第 3 週 研究テーマの設定</p> <p>第 4 週 先行研究・文献レビュー 1</p> <p>第 5 週 先行研究・文献レビュー 2</p> <p>第 6 週 先行研究・文献レビュー 3</p> <p>第 7 週 先行研究・文献レビュー 4</p> <p>第 8 週 文献講読 1</p> <p>第 9 週 文献講読 2</p> <p>第 10 週 文献講読 3</p> <p>第 11 週 文献講読 4</p> <p>第 12 週 文献講読 5</p> <p>第 13 週 研究計画の検証</p> <p>第 14 週 研究計画の検証と論点整理</p> <p>第 15 週 研究計画の検証と論点整理</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>後学期</p> <p>第 1 週 オリエンテーション (進め方の確認)</p> <p>第 2 週 論文作成</p> <p>第 3 週 //</p> <p>第 4 週 //</p> <p>第 5 週 研究計画発表会</p> <p>第 6 週 論文作成</p> <p>第 7 週 //</p> <p>第 8 週 //</p> <p>第 9 週 論文添削指導</p> <p>第 10 週 //</p> <p>第 11 週 //</p> <p>第 12 週 //</p> <p>第 13 週 //</p> <p>第 14 週 論文作成</p> <p>第 15 週 総括と今後の進め方について</p> </td> </tr> </table> <p>4. テキスト・参考文献 研究計画をもとに検討指示する。</p> <p>5. 準備学習 自ら立てた研究課題に則って取り組むこと。</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>活動状況 (課題レポート作成等)</td> <td>50点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>50点</td> <td>合計100点</td> </tr> </table> <p>7. 履修の条件 企業経営・企業行動について基本的な知識を有していることが望ましい。</p> <p>8. その他 特になし。</p>						<p>前学期</p> <p>第 1 週 オリエンテーション (進め方の確認)</p> <p>第 2 週 研究計画の検討</p> <p>第 3 週 研究テーマの設定</p> <p>第 4 週 先行研究・文献レビュー 1</p> <p>第 5 週 先行研究・文献レビュー 2</p> <p>第 6 週 先行研究・文献レビュー 3</p> <p>第 7 週 先行研究・文献レビュー 4</p> <p>第 8 週 文献講読 1</p> <p>第 9 週 文献講読 2</p> <p>第 10 週 文献講読 3</p> <p>第 11 週 文献講読 4</p> <p>第 12 週 文献講読 5</p> <p>第 13 週 研究計画の検証</p> <p>第 14 週 研究計画の検証と論点整理</p> <p>第 15 週 研究計画の検証と論点整理</p>	<p>後学期</p> <p>第 1 週 オリエンテーション (進め方の確認)</p> <p>第 2 週 論文作成</p> <p>第 3 週 //</p> <p>第 4 週 //</p> <p>第 5 週 研究計画発表会</p> <p>第 6 週 論文作成</p> <p>第 7 週 //</p> <p>第 8 週 //</p> <p>第 9 週 論文添削指導</p> <p>第 10 週 //</p> <p>第 11 週 //</p> <p>第 12 週 //</p> <p>第 13 週 //</p> <p>第 14 週 論文作成</p> <p>第 15 週 総括と今後の進め方について</p>	活動状況 (課題レポート作成等)	50点		発表	50点	合計100点
<p>前学期</p> <p>第 1 週 オリエンテーション (進め方の確認)</p> <p>第 2 週 研究計画の検討</p> <p>第 3 週 研究テーマの設定</p> <p>第 4 週 先行研究・文献レビュー 1</p> <p>第 5 週 先行研究・文献レビュー 2</p> <p>第 6 週 先行研究・文献レビュー 3</p> <p>第 7 週 先行研究・文献レビュー 4</p> <p>第 8 週 文献講読 1</p> <p>第 9 週 文献講読 2</p> <p>第 10 週 文献講読 3</p> <p>第 11 週 文献講読 4</p> <p>第 12 週 文献講読 5</p> <p>第 13 週 研究計画の検証</p> <p>第 14 週 研究計画の検証と論点整理</p> <p>第 15 週 研究計画の検証と論点整理</p>	<p>後学期</p> <p>第 1 週 オリエンテーション (進め方の確認)</p> <p>第 2 週 論文作成</p> <p>第 3 週 //</p> <p>第 4 週 //</p> <p>第 5 週 研究計画発表会</p> <p>第 6 週 論文作成</p> <p>第 7 週 //</p> <p>第 8 週 //</p> <p>第 9 週 論文添削指導</p> <p>第 10 週 //</p> <p>第 11 週 //</p> <p>第 12 週 //</p> <p>第 13 週 //</p> <p>第 14 週 論文作成</p> <p>第 15 週 総括と今後の進め方について</p>												
活動状況 (課題レポート作成等)	50点												
発表	50点	合計100点											

科目名	経営情報研究演習 I			担当教員：中里 収																																																															
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences I			メールアドレス：s.nakazato@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1206																																																															
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																																														
4	1	通年	2	研 312	月曜日・金曜日 3限(13:00～14:30)																																																														
<p>1. 授業の概要</p> <p>本演習では、音声対話・表情・ジェスチャーといったコミュニケーションに関する現象を扱う。前半は主に文献研究や発表練習を行う。後半はシステム設計、プログラミング技法、システム評価などについて演習する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>コミュニケーションシステムの開発を題材にして、実験計画、データ分析、プログラミング技法およびプレゼンテーション方法を習得する。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">前学期</th> <th style="text-align: left;">後学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1週</td><td>オリエンテーション</td><td>第1週</td><td>回研究計画</td></tr> <tr><td>第2週</td><td>文献検索方法</td><td>第2週</td><td>システム設計法</td></tr> <tr><td>第3週</td><td>〃</td><td>第3週</td><td>〃</td></tr> <tr><td>第4週</td><td>文献研究・論文講読</td><td>第4週</td><td>プログラミング方法</td></tr> <tr><td>第5週</td><td>〃</td><td>第5週</td><td>〃</td></tr> <tr><td>第6週</td><td>〃</td><td>第6週</td><td>〃</td></tr> <tr><td>第7週</td><td>〃</td><td>第7週</td><td>〃</td></tr> <tr><td>第8週</td><td>〃</td><td>第8週</td><td>〃</td></tr> <tr><td>第9週</td><td>レポート作成法</td><td>第9週</td><td>システム評価方法</td></tr> <tr><td>第10週</td><td>〃</td><td>第10週</td><td>〃</td></tr> <tr><td>第11週</td><td>プレゼンテーション練習</td><td>第11週</td><td>評価実験</td></tr> <tr><td>第12週</td><td>〃</td><td>第12週</td><td>〃</td></tr> <tr><td>第13週</td><td>〃</td><td>第13週</td><td>データ処理法</td></tr> <tr><td>第14週</td><td>〃</td><td>第14週</td><td>〃</td></tr> <tr><td>第15週</td><td>〃</td><td>第15週</td><td>〃</td></tr> </tbody> </table> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 講義の中で資料を配布する。</p> <p>【参考文献】 堂下 修司 他 「音声による人間と機械の対話」 オーム社 (4500 円) 田窪行則 他 「言語の科学2 音声」 岩波書店 (3800 円)</p> <p>5. 準備学習 自分の修士論文研究の進捗状況を説明できるようにしておくこと。</p> <p>6. 成績評価の方法 レポート課題 (50 点) 発表内容 (50 点) で評価する。</p> <p>7. 履修の条件 プログラミングの経験があることが望ましい。</p> <p>8. その他 特になし。</p>						前学期	後学期	第1週	オリエンテーション	第1週	回研究計画	第2週	文献検索方法	第2週	システム設計法	第3週	〃	第3週	〃	第4週	文献研究・論文講読	第4週	プログラミング方法	第5週	〃	第5週	〃	第6週	〃	第6週	〃	第7週	〃	第7週	〃	第8週	〃	第8週	〃	第9週	レポート作成法	第9週	システム評価方法	第10週	〃	第10週	〃	第11週	プレゼンテーション練習	第11週	評価実験	第12週	〃	第12週	〃	第13週	〃	第13週	データ処理法	第14週	〃	第14週	〃	第15週	〃	第15週	〃
前学期	後学期																																																																		
第1週	オリエンテーション	第1週	回研究計画																																																																
第2週	文献検索方法	第2週	システム設計法																																																																
第3週	〃	第3週	〃																																																																
第4週	文献研究・論文講読	第4週	プログラミング方法																																																																
第5週	〃	第5週	〃																																																																
第6週	〃	第6週	〃																																																																
第7週	〃	第7週	〃																																																																
第8週	〃	第8週	〃																																																																
第9週	レポート作成法	第9週	システム評価方法																																																																
第10週	〃	第10週	〃																																																																
第11週	プレゼンテーション練習	第11週	評価実験																																																																
第12週	〃	第12週	〃																																																																
第13週	〃	第13週	データ処理法																																																																
第14週	〃	第14週	〃																																																																
第15週	〃	第15週	〃																																																																

科目名	経営情報研究演習 I			担当教員：田邊 勝義	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences I			メールアドレス：k.tanabe@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1202	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
4	1	通年	2	研 307	月 3 限、木 3 限

1. 授業の概要
本演習は、情報処理分野における情報検索、画像処理、医療情報処理の研究活動に焦点を当て、先行研究の文献講読、課題抽出、テーマ選定、研究目的、研究方法の検討を行い、計画を策定し、研究活動を行う。

2. 到達目標
・研究分野に関する文献、研究テーマに関する内容を理解し、当該研究分野の現状を把握すると共に説明できること。
・研究テーマに関する研究活動を実施するための環境を整え、論理的な研究計画を立てられるようになること。

3. 授業の計画と内容

前期	後期
第 1 週 オリエンテーション	第 1 週 オリエンテーション
第 2 週 これまでの研究活動状況の紹介	第 2 週 研究計画に基づき PC 環境、実験環境整備
第 3 週 研究テーマ候補の選定指導	第 3 週 実験プログラム作成・データ収集指導 (1)
第 4 週 研究テーマ候補の選定指導	第 4 週 実験プログラム作成・データ収集指導 (2)
第 5 週 研究テーマ関連分野の文献収集・文献講読 (1)	第 5 週 実験プログラム作成・データ収集指導 (3)
第 6 週 研究テーマ関連分野の文献収集・文献講読 (2)	第 6 週 実験プログラム作成・データ収集指導 (4)
第 7 週 研究テーマ関連分野の文献講読・文献紹介 (1)	第 7 週 実験プログラム作成・データ収集指導 (5)
第 8 週 研究テーマ関連分野の文献講読・文献紹介 (2)	第 8 週 研究進捗状況中間報告会
第 9 週 研究課題設定指導 (1)	第 9 週 再研究計画策定指導 (1)
第 10 週 研究課題設定指導 (2)	第 10 週 再研究計画策定指導 (2)
第 11 週 研究課題設定指導 (3)	第 11 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (1)
第 12 週 研究課題設定指導 (4)	第 12 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (2)
第 13 週 研究テーマ選定・計画策定指導 (1)	第 13 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (3)
第 14 週 研究テーマ選定・計画策定指導 (2)	第 14 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (4)
第 15 週 研究計画発表会	第 15 週 研究成果発表会

4. テキスト・参考文献
【テキスト】
各自の研究テーマに合わせて指定する。
【参考文献】
各自の研究テーマに合わせて指定する。

5. 準備学習
興味関心のある研究テーマについて先行研究の文献調査をし、文献収集・講読を十分行っておくこと。
研究計画の青写真を予め描いておくこと。

6. 成績評価の方法
①ゼミの研究活動状況：30 点
②報告書：40 点
③発表会：30 点

7. 履修の条件
指導教員とのディスカッション、口頭発表の際にはレジメを用意し説明すること。

8. その他
特になし。

科目名	経営情報研究演習Ⅱ			担当教員：宮平 栄治																																	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences II			メールアドレス：s.miyahira@meio-u.ac.jp																																	
				研究室電話番号：0980-51-1201																																	
単位数	受講年次	開講学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																
4	2	通年	2～3	研 315	火・木 14：45～16：15																																
<p>1. 授業の概要</p> <p>研究演習Ⅱでは研究演習Ⅰで学んだ理論的枠組みから修士論文テーマに関する論文を作成する。修士論文の作成に当たって常に理論的枠組みのどの部分を体系立てているのかという全体と部分を意識し、また、現実との比較を通して、理論の限界を認識するとともに、理論化できない諸現象へのアプローチ方法も学ぶ。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>修士号学位請求に資する論文を作成する。そのためには、修士論文のテーマに即した原著論文を批判的に読解し、まとめ、課題等を発見する。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>前 期</th> <th>後 期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回 関連論文文献研究と発表①</td> <td>第 1 回 修士論文第 1 章報告①</td> </tr> <tr> <td>第 2 回 関連論文文献研究と発表②</td> <td>第 2 回 修士論文第 1 章報告②</td> </tr> <tr> <td>第 3 回 関連論文文献研究と発表③</td> <td>第 3 回 修士論文第 2 章報告①</td> </tr> <tr> <td>第 4 回 関連論文文献研究と発表④</td> <td>第 4 回 修士論文第 2 章報告②</td> </tr> <tr> <td>第 5 回 関連論文文献研究と発表⑤</td> <td>第 5 回 修士論文第 3 章報告①</td> </tr> <tr> <td>第 6 回 テーマ選定と中間発表</td> <td>第 6 回 修士論文第 3 章報告②</td> </tr> <tr> <td>第 7 回 関連論文文献研究と発表⑥</td> <td>第 7 回 修士論文第 4 章報告①</td> </tr> <tr> <td>第 8 回 関連論文文献研究と発表⑦</td> <td>第 8 回 修士論文第 4 章報告②</td> </tr> <tr> <td>第 9 回 関連論文文献研究と発表⑧</td> <td>第 9 回 中間報告</td> </tr> <tr> <td>第 10 回 関連論文文献研究と発表⑨</td> <td>第 10 回 修士論文結論報告①</td> </tr> <tr> <td>第 11 回 関連論文文献研究と発表⑩</td> <td>第 11 回 修士論文結論報告②</td> </tr> <tr> <td>第 12 回 修士論文章立て</td> <td>第 12 回 修士論文の全体構成確認①</td> </tr> <tr> <td>第 13 回 修士論文章立てとクロッキー</td> <td>第 13 回 修士論文の全体構成確認②</td> </tr> <tr> <td>第 14 回 修士論文章立てと具体例</td> <td>第 14 回 修士論文の校正</td> </tr> <tr> <td>第 15 回 修士論文の構成</td> <td>第 15 回 修士論文結論報告①</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 各自の修士論文のテーマに即した文献を指示する。</p> <p>【参考文献】 修士論文のテーマに関した優れた先行研究を指示する。</p> <p>5. 準備学習</p> <p>演習時間までに原著論文の内容をまとめ、レジюмеにまとめる。</p> <p>6. 評価方法</p> <p>①報告レジюме ②報告内容</p> <p>7. 履修条件</p> <p>口頭発表の際は、レジюмеを用意する。</p> <p>8. その他</p> <p>特になし。</p>						前 期	後 期	第 1 回 関連論文文献研究と発表①	第 1 回 修士論文第 1 章報告①	第 2 回 関連論文文献研究と発表②	第 2 回 修士論文第 1 章報告②	第 3 回 関連論文文献研究と発表③	第 3 回 修士論文第 2 章報告①	第 4 回 関連論文文献研究と発表④	第 4 回 修士論文第 2 章報告②	第 5 回 関連論文文献研究と発表⑤	第 5 回 修士論文第 3 章報告①	第 6 回 テーマ選定と中間発表	第 6 回 修士論文第 3 章報告②	第 7 回 関連論文文献研究と発表⑥	第 7 回 修士論文第 4 章報告①	第 8 回 関連論文文献研究と発表⑦	第 8 回 修士論文第 4 章報告②	第 9 回 関連論文文献研究と発表⑧	第 9 回 中間報告	第 10 回 関連論文文献研究と発表⑨	第 10 回 修士論文結論報告①	第 11 回 関連論文文献研究と発表⑩	第 11 回 修士論文結論報告②	第 12 回 修士論文章立て	第 12 回 修士論文の全体構成確認①	第 13 回 修士論文章立てとクロッキー	第 13 回 修士論文の全体構成確認②	第 14 回 修士論文章立てと具体例	第 14 回 修士論文の校正	第 15 回 修士論文の構成	第 15 回 修士論文結論報告①
前 期	後 期																																				
第 1 回 関連論文文献研究と発表①	第 1 回 修士論文第 1 章報告①																																				
第 2 回 関連論文文献研究と発表②	第 2 回 修士論文第 1 章報告②																																				
第 3 回 関連論文文献研究と発表③	第 3 回 修士論文第 2 章報告①																																				
第 4 回 関連論文文献研究と発表④	第 4 回 修士論文第 2 章報告②																																				
第 5 回 関連論文文献研究と発表⑤	第 5 回 修士論文第 3 章報告①																																				
第 6 回 テーマ選定と中間発表	第 6 回 修士論文第 3 章報告②																																				
第 7 回 関連論文文献研究と発表⑥	第 7 回 修士論文第 4 章報告①																																				
第 8 回 関連論文文献研究と発表⑦	第 8 回 修士論文第 4 章報告②																																				
第 9 回 関連論文文献研究と発表⑧	第 9 回 中間報告																																				
第 10 回 関連論文文献研究と発表⑨	第 10 回 修士論文結論報告①																																				
第 11 回 関連論文文献研究と発表⑩	第 11 回 修士論文結論報告②																																				
第 12 回 修士論文章立て	第 12 回 修士論文の全体構成確認①																																				
第 13 回 修士論文章立てとクロッキー	第 13 回 修士論文の全体構成確認②																																				
第 14 回 修士論文章立てと具体例	第 14 回 修士論文の校正																																				
第 15 回 修士論文の構成	第 15 回 修士論文結論報告①																																				

科目名	経営情報研究演習Ⅱ			担当教員：金城 亮																																																																					
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences II			メールアドレス：a.kinjo@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1203																																																																					
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																																																				
4	2	通年	2	研 314	火曜 4 限・木曜 2 限																																																																				
<p>1. 授業の概要</p> <p>本演習は産業・組織心理学分野の研究活動を行う演習である。当分野の研究演習Ⅰを履修済みであることを前提としている。本演習では研究演習Ⅰにおいて設定したテーマと予備分析に基づき、実証科学的アプローチによってデータを収集・分析し、修士論文にまとめることを課題とする。また、研究成果について少なくとも3回の報告発表（テーマ発表・中間発表・最終発表）を義務づける。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>産業・組織心理学分野に独自の研究知見を提供しうる修士論文を執筆する。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0"> <tr> <td>第1週</td> <td>研究計画①：研究テーマ</td> <td>第16週</td> <td>結果の解釈・考察①</td> </tr> <tr> <td>第2週</td> <td>研究計画②：研究の背景と目的</td> <td>第17週</td> <td>結果の解釈・考察②</td> </tr> <tr> <td>第3週</td> <td>研究計画③：仮説の設定</td> <td>第18週</td> <td>修士論文まとめ</td> </tr> <tr> <td>第4週</td> <td>研究計画④：研究方法（手続き）</td> <td>第19週</td> <td>修士論文まとめ</td> </tr> <tr> <td>第5週</td> <td>研究計画⑤：研究方法（要因計画／尺度）</td> <td>第20週</td> <td>修士論文まとめ</td> </tr> <tr> <td>第6週</td> <td>本実験／本調査実施</td> <td>第21週</td> <td>修士論文まとめ</td> </tr> <tr> <td>第7週</td> <td>本実験／本調査実施</td> <td>第22週</td> <td>修士論文まとめ</td> </tr> <tr> <td>第8週</td> <td>本実験／本調査実施</td> <td>第23週</td> <td>今後の課題検討</td> </tr> <tr> <td>第9週</td> <td>本実験／本調査実施</td> <td>第24週</td> <td>今後の課題検討</td> </tr> <tr> <td>第10週</td> <td>データ入力・集計①</td> <td>第25週</td> <td>修士論文提出</td> </tr> <tr> <td>第11週</td> <td>データ入力・集計②</td> <td>第26週</td> <td>審査・報告会準備（要旨作成）</td> </tr> <tr> <td>第12週</td> <td>統計分析①</td> <td>第27週</td> <td>審査・報告会準備（プレゼン資料）</td> </tr> <tr> <td>第13週</td> <td>統計分析②</td> <td>第28週</td> <td>審査・報告会準備（プレゼン資料）</td> </tr> <tr> <td>第14週</td> <td>図表作成①</td> <td>第29週</td> <td>修士論文審査・報告会</td> </tr> <tr> <td>第15週</td> <td>図表作成②</td> <td>第30週</td> <td>総まとめ</td> </tr> </table> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 研究テーマに応じて適宜指定</p> <p>【参考文献】 研究領域に応じて適宜指定</p> <p>5. 準備学習</p> <p>自身の研究テーマに沿った先行研究の収集、講読を十分に行うこと。</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>①ゼミ研究活動状況：</td> <td>20点</td> </tr> <tr> <td>②口頭発表報告：</td> <td>30点</td> </tr> <tr> <td>③修士論文：</td> <td>50点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100点</td> </tr> </table> <p>7. 履修の条件</p> <p>経営情報研究演習Ⅰ（産業・組織心理学領域）の単位を修得済みであること。</p> <p>8. その他</p> <p>演習生には、受動的な研究姿勢に留まることなく、自らの問題意識、研究テーマの解明に向けて主体的・積極的に取り組んでいただきたい。</p>						第1週	研究計画①：研究テーマ	第16週	結果の解釈・考察①	第2週	研究計画②：研究の背景と目的	第17週	結果の解釈・考察②	第3週	研究計画③：仮説の設定	第18週	修士論文まとめ	第4週	研究計画④：研究方法（手続き）	第19週	修士論文まとめ	第5週	研究計画⑤：研究方法（要因計画／尺度）	第20週	修士論文まとめ	第6週	本実験／本調査実施	第21週	修士論文まとめ	第7週	本実験／本調査実施	第22週	修士論文まとめ	第8週	本実験／本調査実施	第23週	今後の課題検討	第9週	本実験／本調査実施	第24週	今後の課題検討	第10週	データ入力・集計①	第25週	修士論文提出	第11週	データ入力・集計②	第26週	審査・報告会準備（要旨作成）	第12週	統計分析①	第27週	審査・報告会準備（プレゼン資料）	第13週	統計分析②	第28週	審査・報告会準備（プレゼン資料）	第14週	図表作成①	第29週	修士論文審査・報告会	第15週	図表作成②	第30週	総まとめ	①ゼミ研究活動状況：	20点	②口頭発表報告：	30点	③修士論文：	50点	計	100点
第1週	研究計画①：研究テーマ	第16週	結果の解釈・考察①																																																																						
第2週	研究計画②：研究の背景と目的	第17週	結果の解釈・考察②																																																																						
第3週	研究計画③：仮説の設定	第18週	修士論文まとめ																																																																						
第4週	研究計画④：研究方法（手続き）	第19週	修士論文まとめ																																																																						
第5週	研究計画⑤：研究方法（要因計画／尺度）	第20週	修士論文まとめ																																																																						
第6週	本実験／本調査実施	第21週	修士論文まとめ																																																																						
第7週	本実験／本調査実施	第22週	修士論文まとめ																																																																						
第8週	本実験／本調査実施	第23週	今後の課題検討																																																																						
第9週	本実験／本調査実施	第24週	今後の課題検討																																																																						
第10週	データ入力・集計①	第25週	修士論文提出																																																																						
第11週	データ入力・集計②	第26週	審査・報告会準備（要旨作成）																																																																						
第12週	統計分析①	第27週	審査・報告会準備（プレゼン資料）																																																																						
第13週	統計分析②	第28週	審査・報告会準備（プレゼン資料）																																																																						
第14週	図表作成①	第29週	修士論文審査・報告会																																																																						
第15週	図表作成②	第30週	総まとめ																																																																						
①ゼミ研究活動状況：	20点																																																																								
②口頭発表報告：	30点																																																																								
③修士論文：	50点																																																																								
計	100点																																																																								

科目名	経営情報研究演習Ⅱ			担当教員：木村 堅一																																																	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences II			メールアドレス：k.kimura@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1205																																																	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																																
4	2	通年	2	研 310	月曜日 3時限目 火曜日 3時限目																																																
<p>1. 授業の概要</p> <p>本演習は、経営情報研究演習Ⅰ（木村担当）に引き続き、社会心理学における対人心理学研究・対人コミュニケーション研究に焦点を当て、それらの先行研究の読解・分析、仮説の発展、研究目的と手法の選択、行動の数量化、仮説検討といった一連の研究プロセスを理解した上で、各自で研究計画を決定、実行を指導する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>社会心理学的な研究を行う上で必要な方法論に関する基本的な知識と技能を理解できる。 自らの修士論文における研究計画の実行・文章化において、得られた知識を活用できる。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">前期</th> <th style="text-align: center;">後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 週</td> <td>各自の研究実績の紹介</td> <td>修士論文の概要作成 (1)</td> </tr> <tr> <td>第 2 週</td> <td>関連する先行研究の紹介 (1)</td> <td>〃 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 3 週</td> <td>〃 (2)</td> <td>〃 (3)</td> </tr> <tr> <td>第 4 週</td> <td>〃 (3)</td> <td>報告会リハーサル (1)</td> </tr> <tr> <td>第 5 週</td> <td>〃 (4)</td> <td>〃 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 6 週</td> <td>〃 (5)</td> <td>論文コメントと修正 (1)</td> </tr> <tr> <td>第 7 週</td> <td>問題の再構成 (1)</td> <td>〃 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 8 週</td> <td>〃 (2)</td> <td>〃 (3)</td> </tr> <tr> <td>第 9 週</td> <td>〃 (3)</td> <td>〃 (4)</td> </tr> <tr> <td>第 10 週</td> <td>〃 (4)</td> <td>〃 (5)</td> </tr> <tr> <td>第 11 週</td> <td>〃 (5)</td> <td>論文コメントと修正 (1)</td> </tr> <tr> <td>第 12 週</td> <td>追加的な研究計画 (1)</td> <td>〃 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 13 週</td> <td>〃 (2)</td> <td>〃 (3)</td> </tr> <tr> <td>第 14 週</td> <td>〃 (3)</td> <td>〃 (4)</td> </tr> <tr> <td>第 15 週</td> <td>〃 (4)</td> <td>〃 (5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. テキスト・参考文献 適宜、紹介する。</p> <p>5. 準備学習 日頃から、自らの興味・関心あるテーマについて問題意識を深めておくこと。 先行文献の収集・整理を行い、先行研究の成果や問題点をレビューしておくこと。 研究計画を具体化すること。 予備調査・予備実験のデータを分析しておくこと。</p> <p>6. 成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文本体 (50 点) ・発表会 (50 点) ・合計 (100 点) <p>7. 履修の条件 「経営情報研究演習Ⅰ」の単位取得者であり、指導の可否を担当教員から事前に承諾を受けた者に限る。</p> <p>8. その他 特になし。</p>							前期	後期	第 1 週	各自の研究実績の紹介	修士論文の概要作成 (1)	第 2 週	関連する先行研究の紹介 (1)	〃 (2)	第 3 週	〃 (2)	〃 (3)	第 4 週	〃 (3)	報告会リハーサル (1)	第 5 週	〃 (4)	〃 (2)	第 6 週	〃 (5)	論文コメントと修正 (1)	第 7 週	問題の再構成 (1)	〃 (2)	第 8 週	〃 (2)	〃 (3)	第 9 週	〃 (3)	〃 (4)	第 10 週	〃 (4)	〃 (5)	第 11 週	〃 (5)	論文コメントと修正 (1)	第 12 週	追加的な研究計画 (1)	〃 (2)	第 13 週	〃 (2)	〃 (3)	第 14 週	〃 (3)	〃 (4)	第 15 週	〃 (4)	〃 (5)
	前期	後期																																																			
第 1 週	各自の研究実績の紹介	修士論文の概要作成 (1)																																																			
第 2 週	関連する先行研究の紹介 (1)	〃 (2)																																																			
第 3 週	〃 (2)	〃 (3)																																																			
第 4 週	〃 (3)	報告会リハーサル (1)																																																			
第 5 週	〃 (4)	〃 (2)																																																			
第 6 週	〃 (5)	論文コメントと修正 (1)																																																			
第 7 週	問題の再構成 (1)	〃 (2)																																																			
第 8 週	〃 (2)	〃 (3)																																																			
第 9 週	〃 (3)	〃 (4)																																																			
第 10 週	〃 (4)	〃 (5)																																																			
第 11 週	〃 (5)	論文コメントと修正 (1)																																																			
第 12 週	追加的な研究計画 (1)	〃 (2)																																																			
第 13 週	〃 (2)	〃 (3)																																																			
第 14 週	〃 (3)	〃 (4)																																																			
第 15 週	〃 (4)	〃 (5)																																																			

科目名	経営情報研究演習Ⅱ			担当教員：仲尾次 洋子	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Ⅱ			メールアドレス：y.nakaoji@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1093	
単位数	受講年次	開講学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
4	2	通年	若干名	研 302	火1限・金1限

1. 授業の概要

本演習では、研究演習Ⅰで学んだ理論的枠組みをベースに修士論文を作成する。

2. 到達目標

修士論文について、明確なストーリーラインと客観的な裏付けに基づく結論を見出すこと。

3. 講義予定

前学期		後学期	
第1週	オリエンテーション	第1週	論文再構成
第2週	論文の進捗確認	第2週	論文作成
第3週	論文作成	第3週	〃
第4週	〃	第4週	〃
第5週	〃	第5週	〃
第6週	〃	第6週	〃
第7週	〃	第7週	〃
第8週	〃	第8週	〃
第9週	〃	第9週	〃
第10週	〃	第10週	〃
第11週	〃	第11週	〃
第12週	〃	第12週	最終発表の準備
第13週	中間発表の準備	第13週	〃
第14週	〃	第14週	〃
第15週	前期の総括	第15週	総括

4. テキスト・参考文献

適宜指示する。

5. 準備学習

研究計画に沿って毎回報告できる準備を行うこと。

6. 成績評価の方法

活動状況 20点
研究成果 80点

7. 履修の条件

原則として、経営情報研究演習Ⅰからの継続である。

8. その他

特になし。

科目名	経営情報研究演習Ⅱ			担当教員：林 優子																																							
科目名 (英語)	Seminar in Management and Information sciences Ⅱ			メールアドレス：y.hayashi@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1094																																							
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー																																						
4	1	通年	6	308	月曜 11:00～12:00 火曜 11:00～12:00																																						
<p>1. 授業の概要</p> <p>本演習は、経営戦略分野の研究を行う。演習Ⅱでは、先行研究を踏まえて、研究課題や研究目的を明確化し、修士論文の完成に取り組む。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>修士論文の作成を行う。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">前学期</th> <th style="text-align: center;">後学期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 週 オリエンテーション 修士論文完成に向けての スケジュールリングの確認</td> <td>第 1 週 修士論文中間発表の振り返り</td> </tr> <tr> <td>第 2 週 論文の進捗確認</td> <td>第 2 週 論文作成</td> </tr> <tr> <td>第 3 週 研究計画の確認</td> <td>第 3 週 〃</td> </tr> <tr> <td>第 4 週 論文作成</td> <td>第 4 週 論文添削指導</td> </tr> <tr> <td>第 5 週 〃</td> <td>第 5 週 〃</td> </tr> <tr> <td>第 6 週 〃</td> <td>第 6 週 論文作成</td> </tr> <tr> <td>第 7 週 論文添削指導</td> <td>第 7 週 〃</td> </tr> <tr> <td>第 8 週 〃</td> <td>第 8 週 〃</td> </tr> <tr> <td>第 9 週 〃</td> <td>第 9 週 〃</td> </tr> <tr> <td>第 10 週 論文作成</td> <td>第 10 週 論文添削指導</td> </tr> <tr> <td>第 11 週 〃</td> <td>第 11 週 〃</td> </tr> <tr> <td>第 12 週 〃</td> <td>第 12 週 〃</td> </tr> <tr> <td>第 13 週 論文添削指導</td> <td>第 13 週 論文作成</td> </tr> <tr> <td>第 14 週 〃</td> <td>第 14 週 論文作成・仕上げと最終報告の準備</td> </tr> <tr> <td>第 15 週 中間発表の準備</td> <td>第 15 週 最終発表会</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>テキストは使用しない。論文作成において必要なものを適宜指示する。</p> <p>5. 準備学習</p> <p>自ら立てた研究計画に基づき、取り組むこと。</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>活動状況（論文作成）</td> <td>80 点</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>20 点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100 点</td> </tr> </table> <p>7. 履修の条件</p> <p>経営情報研究演習Ⅰを修得済みであること。</p> <p>8. その他</p> <p>特になし。</p>						前学期	後学期	第 1 週 オリエンテーション 修士論文完成に向けての スケジュールリングの確認	第 1 週 修士論文中間発表の振り返り	第 2 週 論文の進捗確認	第 2 週 論文作成	第 3 週 研究計画の確認	第 3 週 〃	第 4 週 論文作成	第 4 週 論文添削指導	第 5 週 〃	第 5 週 〃	第 6 週 〃	第 6 週 論文作成	第 7 週 論文添削指導	第 7 週 〃	第 8 週 〃	第 8 週 〃	第 9 週 〃	第 9 週 〃	第 10 週 論文作成	第 10 週 論文添削指導	第 11 週 〃	第 11 週 〃	第 12 週 〃	第 12 週 〃	第 13 週 論文添削指導	第 13 週 論文作成	第 14 週 〃	第 14 週 論文作成・仕上げと最終報告の準備	第 15 週 中間発表の準備	第 15 週 最終発表会	活動状況（論文作成）	80 点	発表	20 点	合計	100 点
前学期	後学期																																										
第 1 週 オリエンテーション 修士論文完成に向けての スケジュールリングの確認	第 1 週 修士論文中間発表の振り返り																																										
第 2 週 論文の進捗確認	第 2 週 論文作成																																										
第 3 週 研究計画の確認	第 3 週 〃																																										
第 4 週 論文作成	第 4 週 論文添削指導																																										
第 5 週 〃	第 5 週 〃																																										
第 6 週 〃	第 6 週 論文作成																																										
第 7 週 論文添削指導	第 7 週 〃																																										
第 8 週 〃	第 8 週 〃																																										
第 9 週 〃	第 9 週 〃																																										
第 10 週 論文作成	第 10 週 論文添削指導																																										
第 11 週 〃	第 11 週 〃																																										
第 12 週 〃	第 12 週 〃																																										
第 13 週 論文添削指導	第 13 週 論文作成																																										
第 14 週 〃	第 14 週 論文作成・仕上げと最終報告の準備																																										
第 15 週 中間発表の準備	第 15 週 最終発表会																																										
活動状況（論文作成）	80 点																																										
発表	20 点																																										
合計	100 点																																										

科目名	経営情報研究演習Ⅱ			担当教員：中里 収			
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences II			メールアドレス：s.nakazato@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1206			
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー		
4	2	通年	2	研 312	月曜日・金曜日 3限(13:00～14:30)		
<p>1. 授業の概要</p> <p>本演習では、音声対話・表情・ジェスチャーといった、コミュニケーションに関する現象を扱う。コミュニケーションシステムの開発を題材にして、研究方法や論文執筆の手順を習得する。前半はシステム設計、システム評価実験などの演習を行い、後半は修士論文の執筆法を演習する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>音声対話研究の基礎知識を身に付ける。 研究者に必要な技能を身に付ける。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>前学期</p> <p>第1週 オリエンテーション</p> <p>第2週 システム設計法</p> <p>第3週 //</p> <p>第4週 プログラミング方法</p> <p>第5週 //</p> <p>第6週 //</p> <p>第7週 システム評価</p> <p>第8週 //</p> <p>第9週 実験計画法</p> <p>第10週 //</p> <p>第11週 評価実験</p> <p>第12週 //</p> <p>第13週 データ処理法</p> <p>第14週 //</p> <p>第15週 //</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>後学期</p> <p>第1週 オリエンテーション・研究計画</p> <p>第2週 論文執筆方法</p> <p>第3週 //</p> <p>第4週 //</p> <p>第5週 //</p> <p>第6週 //</p> <p>第7週 //</p> <p>第8週 プレゼンテーション</p> <p>第9週 論文執筆方法</p> <p>第10週 //</p> <p>第11週 //</p> <p>第12週 //</p> <p>第13週 //</p> <p>第14週 プレゼンテーション</p> <p>第15週 //</p> </td> </tr> </table> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 講義の中で資料を配布する。</p> <p>【参考文献】 堂下 修司 他 「音声による人間と機械の対話」 オーム社 (4500円) 田窪行則 他 「言語の科学2 音声」 岩波書店 (3800円)</p> <p>5. 準備学習 自分の修士論文研究の進捗状況を説明できるようにしておくこと。</p> <p>6. 成績評価の方法 修士論文内容(80点) 口頭発表内容(20点) で評価する。</p> <p>7. 履修の条件 原則として経営情報研究演習Ⅰからの継続である。</p> <p>8. その他 特になし。</p>						<p>前学期</p> <p>第1週 オリエンテーション</p> <p>第2週 システム設計法</p> <p>第3週 //</p> <p>第4週 プログラミング方法</p> <p>第5週 //</p> <p>第6週 //</p> <p>第7週 システム評価</p> <p>第8週 //</p> <p>第9週 実験計画法</p> <p>第10週 //</p> <p>第11週 評価実験</p> <p>第12週 //</p> <p>第13週 データ処理法</p> <p>第14週 //</p> <p>第15週 //</p>	<p>後学期</p> <p>第1週 オリエンテーション・研究計画</p> <p>第2週 論文執筆方法</p> <p>第3週 //</p> <p>第4週 //</p> <p>第5週 //</p> <p>第6週 //</p> <p>第7週 //</p> <p>第8週 プレゼンテーション</p> <p>第9週 論文執筆方法</p> <p>第10週 //</p> <p>第11週 //</p> <p>第12週 //</p> <p>第13週 //</p> <p>第14週 プレゼンテーション</p> <p>第15週 //</p>
<p>前学期</p> <p>第1週 オリエンテーション</p> <p>第2週 システム設計法</p> <p>第3週 //</p> <p>第4週 プログラミング方法</p> <p>第5週 //</p> <p>第6週 //</p> <p>第7週 システム評価</p> <p>第8週 //</p> <p>第9週 実験計画法</p> <p>第10週 //</p> <p>第11週 評価実験</p> <p>第12週 //</p> <p>第13週 データ処理法</p> <p>第14週 //</p> <p>第15週 //</p>	<p>後学期</p> <p>第1週 オリエンテーション・研究計画</p> <p>第2週 論文執筆方法</p> <p>第3週 //</p> <p>第4週 //</p> <p>第5週 //</p> <p>第6週 //</p> <p>第7週 //</p> <p>第8週 プレゼンテーション</p> <p>第9週 論文執筆方法</p> <p>第10週 //</p> <p>第11週 //</p> <p>第12週 //</p> <p>第13週 //</p> <p>第14週 プレゼンテーション</p> <p>第15週 //</p>						

科目名	経営情報研究演習Ⅱ			担当教員：田邊 勝義																																	
科目名(英語)	Seminar in Management and Information Sciences II			メールアドレス：k.tanabe@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1202																																	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																
4	2	通年	2	研 307	月 3 限、木 3 限																																
<p>1. 授業の概要</p> <p>本演習では、経営情報研究演習Ⅰ（田邊ゼミ）に引き続き、各自の研究テーマの学術的必要性、研究背景、研究課題、研究計画に基づき実験を行い、データを収集・分析し、考察した研究成果を修士論文にまとめる。研究の進捗状況について適宜報告し、ディスカッションを通じて、より完成度の高い研究成果としてまとめることを目指す。</p> <p>2. 到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な研究報告書を作成することができること。 ・同じ分野の研究者と専門性に基づいた研究テーマに関する議論を行う力を身に付けること。 <p>3. 授業の計画と内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">前期</th> <th style="text-align: center;">後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 週 オリエンテーション</td> <td>第 1 週 オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>第 2 週 これまでの研究成果の報告</td> <td>第 2 週 研究成果の考察検討指導 (1)</td> </tr> <tr> <td>第 3 週 研究計画の再設定指導 (1)</td> <td>第 3 週 研究成果の考察検討指導 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 4 週 研究計画の再設定指導 (2)</td> <td>第 4 週 修士論文概要作成・報告・指導</td> </tr> <tr> <td>第 5 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (1)</td> <td>第 5 週 修士論文作成・報告・指導 (1)</td> </tr> <tr> <td>第 6 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (2)</td> <td>第 6 週 修士論文作成・報告・指導 (2)</td> </tr> <tr> <td>第 7 週 データ分析とまとめ指導 (1)</td> <td>第 7 週 修士論文作成・報告・指導 (3)</td> </tr> <tr> <td>第 8 週 データ分析とまとめ指導 (2)</td> <td>第 8 週 修士論文のまとめ</td> </tr> <tr> <td>第 9 週 研究進捗状況中間報告会</td> <td>第 9 週 修士論文初版完成</td> </tr> <tr> <td>第 10 週 研究成果指導 (1)</td> <td>第 10 週 審査・報告会準備指導 (要旨作成)</td> </tr> <tr> <td>第 11 週 研究成果指導 (2)</td> <td>第 11 週 審査・報告会準備指導 (報告資料作成)</td> </tr> <tr> <td>第 12 週 修士論文章立て検討指導</td> <td>第 12 週 審査・報告会準備指導 (報告資料作成)</td> </tr> <tr> <td>第 13 週 修士論文の構成指導</td> <td>第 13 週 審査・報告会準備指導 (プレゼン資料作成)</td> </tr> <tr> <td>第 14 週 追加研究データ収集の計画策定と収集指導</td> <td>第 14 週 審査・報告会準備指導 (プレゼン練習)</td> </tr> <tr> <td>第 15 週 研究成果発表会</td> <td>第 15 週 修士論文審査・報告会</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 各自の研究テーマに合わせて指定する。</p> <p>【参考文献】 各自の研究テーマに合わせて指定する。</p> <p>5. 準備学習 研究の進捗状況をレジメに基づいて説明できるように準備すること。</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <p>①ゼミの研究活動状況：20 点 ②修士論文内容：60 点 ③発表会：20 点</p> <p>7. 履修の条件 原則として経営情報研究演習Ⅰ（田邊ゼミ）の単位取得者であること。 指導教員とのディスカッション、口頭発表の際にはレジメを用意し説明すること。</p> <p>8. その他 研究成果を積極的に学会発表すること。</p>						前期	後期	第 1 週 オリエンテーション	第 1 週 オリエンテーション	第 2 週 これまでの研究成果の報告	第 2 週 研究成果の考察検討指導 (1)	第 3 週 研究計画の再設定指導 (1)	第 3 週 研究成果の考察検討指導 (2)	第 4 週 研究計画の再設定指導 (2)	第 4 週 修士論文概要作成・報告・指導	第 5 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (1)	第 5 週 修士論文作成・報告・指導 (1)	第 6 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (2)	第 6 週 修士論文作成・報告・指導 (2)	第 7 週 データ分析とまとめ指導 (1)	第 7 週 修士論文作成・報告・指導 (3)	第 8 週 データ分析とまとめ指導 (2)	第 8 週 修士論文のまとめ	第 9 週 研究進捗状況中間報告会	第 9 週 修士論文初版完成	第 10 週 研究成果指導 (1)	第 10 週 審査・報告会準備指導 (要旨作成)	第 11 週 研究成果指導 (2)	第 11 週 審査・報告会準備指導 (報告資料作成)	第 12 週 修士論文章立て検討指導	第 12 週 審査・報告会準備指導 (報告資料作成)	第 13 週 修士論文の構成指導	第 13 週 審査・報告会準備指導 (プレゼン資料作成)	第 14 週 追加研究データ収集の計画策定と収集指導	第 14 週 審査・報告会準備指導 (プレゼン練習)	第 15 週 研究成果発表会	第 15 週 修士論文審査・報告会
前期	後期																																				
第 1 週 オリエンテーション	第 1 週 オリエンテーション																																				
第 2 週 これまでの研究成果の報告	第 2 週 研究成果の考察検討指導 (1)																																				
第 3 週 研究計画の再設定指導 (1)	第 3 週 研究成果の考察検討指導 (2)																																				
第 4 週 研究計画の再設定指導 (2)	第 4 週 修士論文概要作成・報告・指導																																				
第 5 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (1)	第 5 週 修士論文作成・報告・指導 (1)																																				
第 6 週 再実験プログラム作成・データ収集指導 (2)	第 6 週 修士論文作成・報告・指導 (2)																																				
第 7 週 データ分析とまとめ指導 (1)	第 7 週 修士論文作成・報告・指導 (3)																																				
第 8 週 データ分析とまとめ指導 (2)	第 8 週 修士論文のまとめ																																				
第 9 週 研究進捗状況中間報告会	第 9 週 修士論文初版完成																																				
第 10 週 研究成果指導 (1)	第 10 週 審査・報告会準備指導 (要旨作成)																																				
第 11 週 研究成果指導 (2)	第 11 週 審査・報告会準備指導 (報告資料作成)																																				
第 12 週 修士論文章立て検討指導	第 12 週 審査・報告会準備指導 (報告資料作成)																																				
第 13 週 修士論文の構成指導	第 13 週 審査・報告会準備指導 (プレゼン資料作成)																																				
第 14 週 追加研究データ収集の計画策定と収集指導	第 14 週 審査・報告会準備指導 (プレゼン練習)																																				
第 15 週 研究成果発表会	第 15 週 修士論文審査・報告会																																				

科目名	経営戦略特論			担当教員：林 優子							
科目名(英語)	Management Strategy			メールアドレス：y.hayashi@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1094							
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー						
2	1・2	後期	6	研308	月3限、木2限						
<p>1. 授業の概要</p> <p>この講義では、基本的な経営戦略に関する理論を体系的に理解することを目的として進めていく。企業を取り巻く環境は常に変化し続けているため、その中で探るべき戦略も変化・進化をしていると考えられる。そこで基本的な論点を踏まえながら、企業競争や企業革新を遂げていくための戦略とはどのようなものかを研究していく。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>経営戦略論の理論的発展の経緯をはじめとして、企業事例を通して企業競争や革新的な展開について理解と分析ができる。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <p>第1週 オリエンテーション 第2週 経営戦略とは① 第3週 経営戦略とは② 第4週 競争戦略① 第5週 競争戦略② 第6週 事業システム戦略 第7週 ドメイン定義・次元 第8週 経営資源展開の戦略① 第9週 経営資源展開の戦略② 第10週 経営資源展開の戦略③ 第11週 経営戦略と組織① 第12週 経営戦略と組織② 第13週 企業文化 第14週 知識創造① 第15週 知識創造②</p> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 オリエンテーション時に受講学生との相談によって決定する。そのため、講義予定が変更になることもある。</p> <p>【参考文献】 石井淳蔵・奥村昭博・加護野忠男・野中郁次郎『経営戦略論（新版）』2002年（有斐閣）3,150円 M. E. ポーター著土岐坤・中辻萬治・小野寺武夫訳『競争優位の戦略』1985年（ダイヤモンド社）8,190円 など、ただし、必要に応じて紹介していく。</p> <p>5. 準備学習</p> <p>本講義は、基本的に受講学生によるプレゼンテーションを中心に行うため、与えられたテーマに沿って必要な情報収集や、事前準備は行うこと。</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>・プレゼンテーション（レジュメ提出含む）</td> <td>75点</td> </tr> <tr> <td>・レポート</td> <td>25点</td> </tr> <tr> <td>・合計</td> <td>100点</td> </tr> </table> <p>7. 履修の条件</p> <p>特になし。</p> <p>8. その他</p> <p>特になし。</p>						・プレゼンテーション（レジュメ提出含む）	75点	・レポート	25点	・合計	100点
・プレゼンテーション（レジュメ提出含む）	75点										
・レポート	25点										
・合計	100点										

科目名	比較経営学特論			担当教員：宮城 敏郎	
科目名(英語)	Comparative Management			メールアドレス：t.miyagi@meio-u.ac.jp	
				研究室電話番号：0980-51-1083	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
2	1・2	後期	2～3	研 204	月曜日 14：50～16：30

1. 授業の概要

経営学は企業の戦略・組織・行動を分析する際に、企業の経済的合理性すなわち企業の目的は利潤の追求であるという「資本の理論」を軸に分析してきた。たとえば、R.H.コースは「企業と市場」論において企業は取引費用を節約するために市場でなされていた取引を組織化したと述べた。また、O.E.ウィリアムは階層的組織の優位性が市場メカニズムより優れている点を挙げ、A.D.チャンドラーは近代大企業の成立と発展において内部組織が市場メカニズムより優越していることを歴史的分析によって明らかにした。しかし、比較制度分析の視点に立てば、アングロ・アメリカン・モデルが唯一無二の最適組織とは言えない。経済システムには多様性があり、歴史的経路と社会の制度体系に依存することは明らかである。

本講義では企業・市場（経済システム）・社会システムという総合的視点と比較経営学的視点に立ち、各国の企業組織について考察していく。

2. 到達目標

比較経営学を通して異なった国家や文化の中でビジネスが発展するにあたって、何が普遍的であり、何が特殊であるのかを考える力を養う。

3. 授業の計画と内容

- 第 1 週 オリエンテーション
- 第 2 週 比較経営学の課題と方法 1
- 第 3 週 比較経営学の課題と方法 2
- 第 4 週 変化する制度レジームとビジネスシステム
- 第 5 週 アメリカ企業社会とステイクホルダー論
- 第 6 週 変貌するアメリカ企業と社会
- 第 7 週 中国の社会主義市場経済体制と国有企業の再編
- 第 8 週 EU 社会の変貌と企業
- 第 9 週 ロシアにおける企業社会の変貌
- 第 10 週 日本のコーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任
- 第 11 週 コーポレート・ガバナンスから見た企業と社会
- 第 12 週 社会的ネットワークから見た企業と社会
- 第 13 週 グローバル化における企業と社会
- 第 14 週 持続可能な発展と企業経営
- 第 15 週 現代企業社会の行方

4. テキスト・参考文献

【テキスト】

日本比較経営学会編『会社と社会比較経営学のすすめ』文理閣、2006年 価格 3150 円

【参考文献】

太田正孝『多国籍企業と異文化マネジメント』同文館出版、平成 20 年 価格 3675 円

5. 準備学習

経済学・経営学の基本概念を押さえておくこと。

6. 成績評価の方法

発表 (30 点) + ディスカッション (30 点) + 課題レポート (40 点) = 100 点

7. 履修の条件

特になし。

8. その他

特になし。

科目名	産業組織特論			担当教員:宮平 栄治																																														
科目名(英語)	Advanced Course of Industrial Organization			メールアドレス: s.miyahira@meio-u.ac.jp																																														
研究室	オフィスアワー		研究室電話番号: 0980-51-1201																																															
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー																																													
2	1	前期	3	研 315	火・木 14:45~16:15																																													
<p>1. 講義内容</p> <p>産業組織特論は、ミクロ経済学と計量経済学の分析手法を基礎に、産業成果や市場成果と企業行動、市場構造、企業組織、政府政策の影響などとの関連性を学びます。これらの分析を基礎に産業組織特論は、独占市場、寡占市場や公的企業の行動と成果へと応用されます。産業組織特論の講義では、ハーバード学派の伝統的産業組織論の理解から始め、ハーバード学派を批判し、発展したシカゴ学派、ゲーム理論およびオークション理論へと展開します。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>産業組織特論の到達目標は、次の4点です。①ハーバード学派の市場構造、市場行動、市場成果(S-C-Pパラダイム)の分析方法と論理構造を理解します。②S-C-Pパラダイムの課題を理解します。③現実の企業活動と市場構造の理論化の方法を学びます。④巨大IT企業の課題と政策の現状を学びます。</p> <p>3. 講義予定</p> <table border="0"> <tr><td>第1週</td><td>研究倫理と産業組織の定義</td><td></td></tr> <tr><td>第2週</td><td>ハーバード学派の産業組織論(S-C-Pパラダイム)</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第3週</td><td>シカゴ学派のS-C-Pパラダイム批判</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第4週</td><td>戦略的行動論によるS-C-Pパラダイム批判</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第5週</td><td>コンテストビリティ理論によるS-C-Pパラダイム批判</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第6週</td><td>取引費用理論</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第7週</td><td>取引費用理論によるS-C-Pパラダイム批判</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第8週</td><td>産業連関による産業の定義</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第9週</td><td>不完全競争理論</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第10週</td><td>価格差別の理論</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第11週</td><td>数量取引と抱き合わせ戦略</td><td>配付プリント</td></tr> <tr><td>第12週</td><td>国営・公営企業の理論</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第13週</td><td>情報の非対称性と企業行動</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第14週</td><td>ゲーム理論とオークション</td><td>配布プリント</td></tr> <tr><td>第15週</td><td>巨大IT企業の課題と対策</td><td>配布プリント</td></tr> </table> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>テキストは指定しません。</p> <p>参考文献</p> <p>雨宮寛二著(2012 NTT出版)『アップル、アマゾン、グーグルの競争戦略』 2,420円</p> <p>江副憲昭著(1994 中央経済社)『市場と規制の経済理論』 3,850円</p> <p>ケン・スティグリッツ著 川越敏司/小川一仁/佐々木俊一郎訳(2008 日経BP社)『オークションの人間行動学—最新理論からオークション必勝法まで』 2,640円</p> <p>ダニエル・カーネン著 村井章子訳(2012 早川書房)『ファスト&スロー—上・下』 各2,310円</p> <p>ティモシー・P・ハバード/ハリリー・J・パーシュ 安手洋祐監訳(2017 NTT出版)『入門多クシオン』 2,540円</p> <p>土居英二・浅利一郎・中野親徳編著(2019 日本評論社)『はじめよう地域産業連関分析基礎編—改訂版』 2,640円</p> <p>土居英二・浅利一郎・中野親徳編著(2020 日本評論社)『はじめよう地域産業連関分析事例分析編—改訂版』 2,970円</p> <p>長岡貞男・平尾由紀子(2013 日本評論社)『産業組織の経済学—第2版—』 3,300円</p> <p>永田良・荻沼隆・荒木一法著(2019 東洋経済新報社)『標準ミクロ経済学—第2版』 3,520円</p> <p>西村和雄著(2011 岩波書店)『ミクロ経済学入門—第3版—』 3,024円</p> <p>ポール・ミルグロム著 川又邦雄・奥野正寛著(2007 東洋経済新報社)『オークション理論とデザイン』 5,940円</p> <p>細江守紀・三浦功編著(2005 中央経済社)『現代公共政策の経済分析』 3,520円</p> <p>5. 準備学習</p> <p>準備学習は、講義の際に配付したプリントの部分を講義中に指示します。</p> <p>6. 評価方法</p> <p>次の2方法で評価します。</p> <p>レポート・・・70点</p> <p>講義中に行う時事問題への適切な解答・・・30点</p> <p>合計 100点</p> <p>7. 履修の条件</p> <p>履修条件は、次の2点です。研究倫理と人権の遵守です。次に、産業組織論に興味・関心がある院生です。</p> <p>8. その他</p> <p>「産業組織特論」を履修した学生の理解度や授業の進捗状況、あるいは、「産業組織」に関連する事案が発生した場合には、事案と「産業組織」の内容や意味を解説することもあります。そのため、シラバス通りに講義が行われない場合があります。予(あらかじめ)めご了承下さい。なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、対面型とMicrosoft社のTeamsのバイブリッド型の授業へ変更される可能性もあります。</p>						第1週	研究倫理と産業組織の定義		第2週	ハーバード学派の産業組織論(S-C-Pパラダイム)	配布プリント	第3週	シカゴ学派のS-C-Pパラダイム批判	配布プリント	第4週	戦略的行動論によるS-C-Pパラダイム批判	配布プリント	第5週	コンテストビリティ理論によるS-C-Pパラダイム批判	配布プリント	第6週	取引費用理論	配布プリント	第7週	取引費用理論によるS-C-Pパラダイム批判	配布プリント	第8週	産業連関による産業の定義	配布プリント	第9週	不完全競争理論	配布プリント	第10週	価格差別の理論	配布プリント	第11週	数量取引と抱き合わせ戦略	配付プリント	第12週	国営・公営企業の理論	配布プリント	第13週	情報の非対称性と企業行動	配布プリント	第14週	ゲーム理論とオークション	配布プリント	第15週	巨大IT企業の課題と対策	配布プリント
第1週	研究倫理と産業組織の定義																																																	
第2週	ハーバード学派の産業組織論(S-C-Pパラダイム)	配布プリント																																																
第3週	シカゴ学派のS-C-Pパラダイム批判	配布プリント																																																
第4週	戦略的行動論によるS-C-Pパラダイム批判	配布プリント																																																
第5週	コンテストビリティ理論によるS-C-Pパラダイム批判	配布プリント																																																
第6週	取引費用理論	配布プリント																																																
第7週	取引費用理論によるS-C-Pパラダイム批判	配布プリント																																																
第8週	産業連関による産業の定義	配布プリント																																																
第9週	不完全競争理論	配布プリント																																																
第10週	価格差別の理論	配布プリント																																																
第11週	数量取引と抱き合わせ戦略	配付プリント																																																
第12週	国営・公営企業の理論	配布プリント																																																
第13週	情報の非対称性と企業行動	配布プリント																																																
第14週	ゲーム理論とオークション	配布プリント																																																
第15週	巨大IT企業の課題と対策	配布プリント																																																

科目名	小集団心理学特論			担当教員：金城 亮	
科目名(英語)	Psychology of Small Groups			メールアドレス：a.kinjo@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1203	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
2	1・2	前期	6	研 314	火曜 4 限・木曜 2 限
<p>1. 授業の概要</p> <p>本特論では、集団、特に継続的な対面的相互作用のある「小集団」のダイナミクスに焦点をあてた議論を展開する。講義計画の前半では、小集団のグループ・ダイナミクス研究において、重要な諸変数を扱った研究事例をレビューする。後半はクラスで選定したテーマに沿って、実際の研究計画を策定し、データ収集ならびに統計分析を行なう。それらを通して、効果的な集団活動のあり方について検討する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>小集団心理学研究領域における基礎的研究事例を理解するとともに、そこで用いられた研究手法を活用応用して実際の小集団過程に関するデータを収集し、分析・考察ができるようになる。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <p>第 1 週 オリエンテーション：小集団研究の意義と目的</p> <p>第 2 週 小集団研究の方法</p> <p>第 3 週 研究事例検討Ⅰ</p> <p>第 4 週 研究事例検討Ⅱ</p> <p>第 5 週 研究事例検討Ⅲ</p> <p>第 6 週 研究事例検討Ⅳ</p> <p>第 7 週 研究事例検討Ⅴ</p> <p>第 8 週 課題演習Ⅰ：研究テーマの選定</p> <p>第 9 週 課題演習Ⅱ：研究計画</p> <p>第 10 週 課題演習Ⅲ：研究手続きの検討、実施準備</p> <p>第 11 週 データ収集Ⅰ（実験／調査／観察）</p> <p>第 12 週 データ収集Ⅱ（実験／調査／観察）</p> <p>第 13 週 データ集計と統計分析</p> <p>第 14 週 考察，研究報告書作成</p> <p>第 15 週 研究報告書提出・ディスカッション</p> <p>第 3 週～第 7 週は、毎回、受講生各自が選んだ研究事例についてレジュメ作成と発表・討論</p> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】</p> <p>斎藤勇 編（1987）『対人社会心理学重要研究集 1－社会的勢力と集団組織の心理－』 誠信書房</p> <p>釘原直樹（2011）『グループ・ダイナミクス－集団と群衆の心理学－』 有斐閣</p> <p>【参考文献】</p> <p>A. Zander 著 黒川正流・金川智恵・坂田桐子 訳 1996 『集団を活かす』 北大路書房</p> <p>その他、適宜指定</p> <p>5. 準備学習</p> <p>初回講義において分担する研究事例について、テキストのみならず第一次資料や関連文献にもあたりつつ理解を深めて発表報告に臨むこと。</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <p>①研究事例報告における分担発表：30点</p> <p>②課題研究における活動状況：20点</p> <p>③研究報告書：50点</p> <p>計 100点</p> <p>7. 履修の条件</p> <p>特になし。</p> <p>8. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的・自立的な参加を求める。 ・演習課題は講義時間以外の時間も利用してデータ収集，分析を行なうことになる。他の受講生と協力しながら共同研究を進めることのできる協調的な姿勢も要求される。 					

科目名	人的資源管理特論			担当教員：金城 亮	
科目名(英語)	Human Resource Management			メールアドレス：a.kinjo@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1203	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
2	1・2	後期	6	研 314	火曜 4限・木曜 2限
<p>1. 授業の概要</p> <p>この講義科目では、人的資源をいかに管理するかというテーマに関して、人的資源管理論および組織行動論の見地から問題を発見・考察すると同時に、効果的な管理方法を学習する。さらに産業組織心理学の知見に基づき、ワーク・モチベーションや組織コミットメントなど被雇用者の観点からみた人的資源管理の課題を検討する。また、組織の情報化に伴って変化しつつある人事情報管理についても考察を深める。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>多様化しつつある雇用・労働環境のもとで、効果的な人的資源管理を行うための方法論について考察し実践上の課題について分析評価することができるようになる。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <p>第1週 オリエンテーション：人的資源管理の特徴</p> <p>第2週 組織の論理①：人的資源管理の課題</p> <p>第3週 組織の論理②：雇用制度と賃金制度の変化</p> <p>第4週 組織の論理③：能力開発と教育訓練</p> <p>第5週 組織の論理④：人的資源管理とジェンダー</p> <p>第6週 組織の論理⑤：管理職者のリーダーシップとその効果</p> <p>第7週 被雇用者の観点①：働くことの意味とキャリア発達</p> <p>第8週 被雇用者の観点②：働くことへの動機づけ</p> <p>第9週 被雇用者の観点③：組織コミットメント</p> <p>第10週 被雇用者の観点④：新規就職者の組織適応と態度変容</p> <p>第11週 被雇用者の観点⑤：サイバー就職コミュニティと就職活動</p> <p>第12週 人的資源管理における情報化①：情報・知識共有</p> <p>第13週 人的資源管理における情報化②：人事情報管理</p> <p>第14週 ディスカッション：人的資源管理</p> <p>第15週 まとめ・課題レポート</p> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 適宜指定する。</p> <p>【参考文献】 岩内亮一・梶原 豊 2004 現代の人的資源管理 学文社 山下洋史 2006 情報化時代の人的資源管理 東京経済情報出版 田尾雅夫 1999 組織の心理学〔新版〕 有斐閣ブックス</p> <p>5. 準備学習</p> <p>雇用する側と雇用される側の両方の視点から、人的資源管理の問題を俯瞰し考察しつつ授業に参加すること。</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <p>①講義参加・報告発表：30点</p> <p>②課題レポート：70点</p> <p>計 100点</p> <p>7. 履修の条件</p> <p>特になし。</p> <p>8. その他</p> <p>教員からの一方的な講義とならぬよう、課題研究の報告、ディスカッション等を交えながら進めていきたい。</p>					

科目名	経営活動情報特論				担当教員：田邊 勝義	
科目名(英語)	Advanced Lecture in Information Management Activities				メールアドレス：k.tanabe@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1202	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー	
2	1・2	後期	6	研 307	月曜日 4限、金曜日 3限	

1. 講義の概要

情報化社会における企業経営のかかえる課題と解決策を考察する。毎回ある課題をとりあげ、その課題に関する資料を講読してまとめを発表し、意見交換する形式および最近のトピックの中から選定した題材を調べ、発表し意見交換する。

本講義は経営情報システムの仕事に携わった経験を活かして、実務経験のある教員が担当し、理論と実践の部分から理解を深める。

また、ICTを活用して講義や学生への連絡を行う。

本講義は、対面演習を基本とするが、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン講義とのハイブリッド型で実施する。

2. 到達目標

情報化社会における経営活動の変化を絶えず推し進めてくる大きな力を感じ取り、それが動いていく方向を読み取る目を養う。伝統的な理論に対し疑問点を見つけ、自分なりの切り口や独自性を出した理論を考える姿勢を身につける。

3. 講義の計画と内容

第1週 オリエンテーション

授業の進め方、研究倫理（剽窃・盗用、対象者への倫理的配慮）に関する指導を行う。

第2週 情報経済社会

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第3週 コンピュータの歴史

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第4週 電子取引とBTO (Built to Order)

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第5週 マルチメディアと生活

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第6週 マルチメディアとビジネス

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第7週 データベースマーケティング

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第8週 ビジネスインテリジェント (データマイニング)

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第9週 ネット広告

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第10週 広告ターゲティング

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

第11週 RFID (Radio Frequency IDentification)

担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う

- 第12週 センサーネットワーク
担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う
- 第13週 クラウド・コンピューティング
担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う
- 第14週 ビジネスモデル特許
担当部分についてよく読み、レジメ or プレゼン資料を作成してきて発表を行う。発表内容に基づいてディスカッションを行う
- 第15週 まとめ・課題レポート
授業の総括を行い、課題レポートを出題する。

4. テキスト・参考文献

【テキスト】

ポーター博士の競争戦略の授業 かんき出版 (1600円+税)

【参考文献】

適宜指示する。

図解「通販業界ハンドブック」、店舗システム協会、(1600円+税)

5. 準備学習

事前に指示したテキストや資料について受講者で担当するページを分担し、担当部分についてよく読んで、レジメ or プレゼン資料を作成してくる。

6. 成績評価の方法

課題レポートと報告発表	60点
活動状況（ディスカッション、参加積極性等）	40点
合計	100点

7. 履修の条件

特になし。

8. その他

授業は、事前に指示したテキスト、資料や最近のトピックの中から選定した題材について予め調べ、その内容を発表し、ディスカッションする形式をとる。

※シラバスはクラスの状況、講義進行によって変更することがあるので、あらかじめご理解下さい。

※科目番号及び受講年次については、入学年度の履修ガイドを参照してください。

※授業は対面授業を基本とするハイブリッド型授業を行います。ただし、学生が学内立ち入り禁止になった場合は、オンライン授業に変更します。

科目名	e-ビジネス特論			担当教員：田邊 勝義	
科目名(英語)	Advanced Lecture in e-Business			メールアドレス：k.tanabe@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1202	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
2	1・2	前期	6	研 307	月曜 4 限、金曜 3 限
<p>1. 講義の概要</p> <p>インターネットをインフラとしたビジネスが一般化してきており、ビジネスの形態が変わってきた。本講義では、インターネットビジネスの基礎からオンライン・ビジネスへの参入方法、Webマーケティング、e-ビジネス、e-コマースの背景にあるテクノロジー等を学ぶと共に、インターネットにおけるビジネスモデルについて考察していく。</p> <p>本講義は情報システムの仕事に携わった経験を活かして、実務経験のある教員が担当し、理論と実践の部分から理解を深める。</p> <p>また、ICTを活用して講義や学生への連絡を行う。</p> <p>対面演習を基本とするが、新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン講義とのハイブリッド型で実施する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>e-ビジネスの現状と課題を理解する。課題が起きている要因の分析、および解決案の検討を自ら出来るようにする。</p> <p>3. 講義の計画と内容</p> <p>第1週 オリエンテーション 授業の進め方および研究倫理（剽窃・盗用、対象者への倫理的配慮）に関する指導を行う。</p> <p>第2週 インターネットビジネス入門</p> <p>第3週 オンライン・ビジネスの準備</p> <p>第4週 テクノロジー</p> <p>第5週 訴訟問題</p> <p>第6週 Webマーケティング戦略</p> <p>第7週 検索エンジン</p> <p>第8週 ショッピングとORM（Operation Resource Management）ソリューション</p> <p>第9週 インタラクティブ・コミュニケーション</p> <p>第10週 Webテクノロジー</p> <p>第11週 セキュリティ</p> <p>第12週 ネット上の画像・映像</p> <p>第13週 ネットでの支払い</p> <p>第14週 オープンソース</p> <p>第15週 まとめ・課題レポート</p> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 よくわかる Web&モバイルマーケティングの教科書 マイナビ（2400円+税）</p> <p>【参考文献】 適宜指示する。 The e-Business Revolution (2nd Edition), Daniel Amor 著、 デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム編、「ネット広告ハンドブック」、日本能率協会マネジメントセンター（1890円+税）</p>					

5. 準備学習

事前に指示したテキストや資料について受講者で担当するページを分担し、担当部分についてよく読んで、レジメ or プレゼン資料を作成してくる。

6. 成績評価の方法

課題レポートと報告発表	60点
活動状況（ディスカッション、参加積極性等）	40点
合計	100点

7. 履修の条件

特になし。

8. その他

授業は、事前に指示したテキスト、資料や最近のトピックの中から選定した題材について予め調べレジメを作成し、その内容を発表し、ディスカッションする形式をとる。

※ シラバスはクラスの状況、講義進行によって変更することがあるので、あらかじめご理解下さい。

※ 科目番号及び受講年次については、入学年度の履修ガイドを参照してください。

※ 授業は対面授業を基本とするハイブリッド型授業を行います。ただし、学生が学内立ち入り禁止になった場合は、オンライン授業に変更します。

科目名	情報交流特論			担当教員：中里 収	
科目名(英語)	Information Interaction			メールアドレス：s.nakazato@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1206	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
2	1・2	前期	3	研 312	月曜日・金曜日 3限(13:00～14:30)
<p>1. 授業の概要</p> <p>本講では、人間同士の音声対話および人とコンピュータとの音声対話について研究する。前半は文献購読を中心に、対話に関する理論やコンピュータでデータを処理する方法を学習する。後半は、分析のテーマを設定し、実際に対話データを収集・分析してみる。人が対話している場面で、音声情報や視覚情報がどのように利用されているかを研究する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>音声対話研究の基礎知識を身に付ける。 研究に必要な「文献検索」、「データ処理」、「プレゼンテーション技法」を身に付ける。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <p>第 1 週 オリエンテーション・研究計画 第 2 週 「話し言葉」と「書き言葉」の研究について 第 3 週 コンピュータと音声 1・音声の物理的特徴 第 4 週 コンピュータと音声 2・音素音節について 第 5 週 コンピュータと音声 3・音声認識システムのしくみ 第 6 週 コンピュータと音声 4・音声対話の特徴 第 7 週 コンピュータと音声 5・音声言語処理 第 8 週 文献研究 第 9 週 〃 第 10 週 対話データの収集方法 第 11 週 〃 第 12 週 対話データの処理方法 第 13 週 〃 第 14 週 プレゼンテーション(成果発表) 第 15 週 〃</p> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>【テキスト】 講義の中で資料を配布する。</p> <p>【参考文献】 海保博之 原田悦子 「プロトコル分析入門」 新曜社 (2500 円) 泉子・K・メイナード 「会話分析」 くろしお出版 (4300 円) 石崎雅人・伝康晴 「談話と対話」 東京大学出版会 (3800 円)</p> <p>5. 準備学習 自分の修士論文のテーマを他人に説明できるようにしておくこと。</p> <p>6. 成績評価の方法 レポート課題 (50 点) 発表内容 (50 点) で評価する。</p> <p>7. 履修の条件 特になし (プログラミングと英語講読の経験があることが望ましい)。</p> <p>8. その他 特になし。</p>					

科目名	情報知能特論			担当教員:	
科目名(英語)	Information Intelligence			メールアドレス: 研究室電話番号:	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
2	1・2	未開講			

1. 授業の概要
 計算機による知識情報処理の基本的考え方, 方法論, 応用, 更にその論文等の読みとまとめについて学ぶ。

2. 到達目標
 計算知能の実用化と技術について学び, 応用の事例に検討する。

3. 授業の計画と内容

第1週	計算知能 (Computational Intelligence) とは
第2週	ソフトコンピューティング
第3週	ソフトコンピューティング
第4週	ニューラルネット
第5週	ニューラルネット
第6週	ニューラルネット
第7週	遺伝的アルゴリズム
第8週	遺伝的アルゴリズム
第9週	進化プログラミング
第10週	ファジイ推論とファジイ制御
第11週	ファジイ推論とファジイ制御
第12週	計算知能の実用化応用技術
第13週	計算知能の実用化応用技術
第14週	計算知能の実用化応用技術
第15週	計算知能の実用化論文のまとめ

4. テキスト・参考文献
【テキスト】
 適宜指示する。
【参考文献】
 IT Text 人工知能、松本・宮原・永井(共著)、オーム社
 Amit Konar・Computational Intelligence: Principles, Techniques, and Applications (2005)

5. 準備学習
 特になし。

6. 成績評価の方法
 課題・学習態度 50点
 期末レポート 50点
 合計100点

7. 履修の条件
 特になし。プログラミングと英語講読の経験があることが望ましい。

8. その他
 特になし。

科目名	情報・通信技術特論			担当教員:	
科目名(英語)	Information and Telecommunication Technology			メールアドレス: 研究室電話番号:	
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
2	1	未開講			

1. 授業の概要

Theoretical and experimental design of telecommunication and data communication systems are discussed. Standards for systems and networks, and regulations governing various issues in telecommunication sectors are explained. Legal issues related to applications are also investigated.

2. 到達目標

計算知能の実用化と技術について学び、応用の事例に検討する

3. 授業の計画と内容

- 第 1 週 Introduction to data and communication systems
- 第 2 週 Standards and role of related organizations
- 第 3 週 Radio communication and spectrum
- 第 4 週 Broadcast Communications
- 第 5 週 Broadcast Co
- 第 6 週 Wireless Communications
- 第 7 週 Wireless Communications
- 第 8 週 Modern Data Communications
- 第 9 週 Modern Data Communications 2
- 第 10 週 Communication Industry Culture
- 第 11 週 Legal issues
- 第 12 週 ICT Industry and Market
- 第 13 週 Regulations in Telecommunication Sector
- 第 14 週 Regulations in Telecommunication Sector
- 第 15 週 ICT Assignment

4. テキスト・参考文献

【テキスト】

適宜指示する。

【参考文献】

1. Com Master Advance, NTT communications NTT 出版, 2013
2. Computer Networks (5th Edition) by Andrew S. Tanenbaum and David J. Wetherall (2010)
3. Data Communications and Networking, Behrouz Forouzan, McGraw-Hill (2012)

5. 準備学習

特になし。

6. 成績評価の方法

課題・学習態度	50点
期末レポート	50点
合計	100点

7. 履修の条件

特になし。英文講読の経験があることが望ましい。

8. その他

特になし。

科目名	会計学特論			担当教員：仲尾次 洋子 メールアドレス：y.nakaoji@meio-u.ac.jp 研究室電話番号：0980-51-1093	
科目名(英語)	Advanced Accounting				
単位数	受講年次	開講学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
2	1・2	後期	1～2	研 302	火曜日 1 限・金曜日 1 限
<p>1. 講義内容 企業活動や投資活動のグローバル化に伴い、企業の業績を国際的に比較可能にするためのグローバルスタンダードとして IFRS（国際財務報告基準）の導入が必要とされている。本講義では、IFRS を念頭に置きながら、英文財務諸表の読み方について学び、財務諸表分析のケーススタディを行う。</p> <p>2. 到達目標 グローバルな企業評価の基礎を習得する。</p> <p>3. 授業計画と内容 第1週 インTRODakション 第2週 Balance Sheet の読み方① 第3週 Balance Sheet の読み方② 第4週 Income Statement の読み方① 第5週 Income Statement の読み方② 第6週 Cash Flow Statement の読み方 第7週 収益性の分析 第8週 効率性の分析 第9週 安全性の分析 第10週 成長性の分析 第11週 総合力の分析 第12週 ケーススタディ① 第13週 ケーススタディ② 第14週 ケーススタディ③ 第15週 まとめ</p> <p>4. テキスト・参考文献 適宜指示する。</p> <p>5. 準備学習 適宜テキストの要約や事例研究の紹介を指示するので、これに関する準備学習を行うこと。</p> <p>6. 成績評価の方法 活動状況 50点 課題 50点 合計 100点</p> <p>7. 履修の条件 簿記の基本的知識を有すること。</p> <p>8. その他 特になし。</p>					

科目名	マーケティング特論			担当教員：	山口 夕妃子 (非常勤講師)	
				メールアドレス：	yuki@cc.saga-u.ac.jp	
科目名 (英語)	Marketing			時間割：		
単位数	受講年次	開講学期	登録人数	研究室	オフィスアワー	
2	1・2	集中講義		—	—	
1. 授業の概要 Class content						
<p>本講義の目的は、地域・都市の再生や地域におけるビジネス・イノベーション、SDGsなど近年の地域の事例を取り上げ、「地域創生」という地域に新しい価値を生み出す仕組みをマーケティングの視点から考えていきます。学生皆さんと共に「マーケティング」という学問から「地域創生」について考えていく講義を行います。</p>						
2. 到達目標 Class objectives						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化の一つとしてマーケティング論的発想をすることができる。 ・地域経済における課題発見能力、課題解決能力をみにつける。 						
3. 授業計画と内容 Class schedule and content						
<p>第1回 ガイダンス</p> <p>第2回 マーケティング環境の分析： PEST 分析 3C 分析 社会・文化の要因とマーケティング：生活様式と消費様式の変化 消費の多様化</p> <p>第3回 STP 戦略：市場細分化、標的市場、ポジショニング</p> <p>第4回 マーケティングミックス（1）：製品戦略、価格戦略</p> <p>第5回 マーケティングミックス（2）：流通戦略、コミュニケーション戦略</p> <p>第6回 地域創生の理論とマーケティングコミットメント</p> <p>第7回 地域ブランド論 先行研究紹介</p> <p>第8回 環境要因と地域ブランド</p> <p>第9回 持続可能なまちづくりに求められる観光産業</p> <p>第10回 地域創生と地域住民・観光客の満足</p> <p>第11回 地域創生と「コト」ベースのブランディング</p> <p>第12回 地域特産品の創出と地場産業の発展</p> <p>第13回 着地型観光による地域創生</p> <p>第14回 伝統産業と地域創生</p> <p>第15回 着地型観光による地域創生</p> <p>第16回 総括</p>						
4. テキスト・参考文献 Textbook・References						
【テキスト】西村順二, 陶山計介, 田中 洋, 山口夕妃子編『地域創生マーケティング』中央経済社 2021年						
5. 準備学習 Preliminary investigation						
事前に配布した資料やテキストを読んでおくこと						
6. 成績評価方法 Assessment						
上記の到達目標の達成度を基準として、プレゼンテーションと授業中での積極的発言などで総合的に判断する。プレゼンテーション60%、積極的な発言25%、レポート提出15%						
7. 履修の条件 Taking courses Conditions						
特になし						
8. その他 Note						
特になし						